

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公開番号】特開2007-333904(P2007-333904A)

【公開日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2006-164062(P2006-164062)

【国際特許分類】

G 0 3 G	15/16	(2006.01)
B 2 9 C	41/12	(2006.01)
C 0 8 L	79/08	(2006.01)
C 0 8 K	3/00	(2006.01)
B 2 9 K	79/00	(2006.01)
B 2 9 L	29/00	(2006.01)

【F I】

G 0 3 G	15/16	
B 2 9 C	41/12	
C 0 8 L	79/08	A
C 0 8 K	3/00	
B 2 9 K	79:00	
B 2 9 L	29:00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリアミック酸と、ポリアミック酸オリゴマーと、導電性微粒子と、有機極性溶媒と、が含有されてなることを特徴とするポリアミック酸組成物。

【請求項2】

前記ポリアミック酸オリゴマーは、テトラカルボン酸二無水物の1モルとジアミンの1モルとを1ユニットとし、前記ユニットの数nが1～60の範囲であることを特徴とする請求項1に記載のポリアミック酸組成物。

【請求項3】

前記ポリアミック酸オリゴマーのポリスチレン換算重量平均分子量が500～20000の範囲であることを特徴とする請求項1に記載のポリアミック酸組成物。

【請求項4】

前記導電性微粒子がカーボンブラックであることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか1項に記載のポリアミック酸組成物。

【請求項5】

有機極性溶媒中においてテトラカルボン酸二無水物とジアミン化合物とを重合させてポリアミック酸オリゴマー溶液を得るポリアミック酸オリゴマー合成工程と、

前記ポリアミック酸オリゴマー溶液に導電性微粒子を分散させて分散液を得る導電性微粒子分散工程と、

前記分散液中においてテトラカルボン酸二無水物とジアミン化合物とを重合させてポリ

アミック酸を合成するポリアミック酸合成工程と、  
をこの順に有することを特徴とするポリアミック酸組成物の製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載のポリアミック酸組成物を、円筒状金型上に塗布し、乾燥処理、加熱処理を施して成形されることを特徴とするポリイミド無端ベルト。

【請求項 7】

表面抵抗率の常用対数値の面内バラツキが 0 . 2 枝以内であることを特徴とする請求項 6 に記載のポリイミド無端ベルト。

【請求項 8】

ポリイミド樹脂と、導電性微粒子と、が含有されてなり、表面抵抗率の常用対数値の面内バラツキが 0 . 2 枝以内であることを特徴とするポリイミド無端ベルト。

【請求項 9】

J I S C 5 0 1 6 ( 1 9 9 4 ) に準拠した耐折回数が 2 0 0 0 回以上であることを特徴とする請求項 6 から請求項 8 のいずれか 1 項に記載のポリイミド無端ベルト。

【請求項 10】

像担持体と、  
該像担持体表面を帶電する帶電手段と、  
前記像担持体表面に潜像を形成する潜像形成手段と、  
前記潜像をトナーにより現像してトナー像を形成する現像手段と、  
前記トナー像を記録媒体上に転写する転写手段と、  
を有する画像形成装置であつて、  
前記転写手段として、請求項 6 から請求項 9 のいずれか 1 項に記載のポリイミド無端ベルトを備えることを特徴とする画像形成装置。